



日本共産党文京区議会議員
まんだち幹夫 通信 **週刊**
 2011年7月22日号 No.201

'みなさんをいつもまんやかに、'

区議団控室：5803-1317 (直通)
 萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7
 ・fax 3868-8355
 メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》

定例区議会を終えて、緊急要望を区に申し入れました

**放射線量調査の継続、施設利用制限見直し
 熱中症対策や絶対高さ制限についてなど…**

13日は区長(この日は副区長が対応)への緊急要望の申し入れでした。震災後、選挙をばさんでこれた4回目です。

区がやっと始めた放射線量調査を公園の木立の下など測定範囲を広げ継続、熱中症対策の強化、住宅の耐震改修工事の



助成拡大、また国保料(今年からまた値上げ)の算定方式の改善をやめること…など。節電にとまなう区施設の利用制限(7)9月中、土日祝日

「まんだち通信200号」、党創立89周年…「みんなで語る会」にお誘い合わせてご参加ください。

『まんだち通信』200号おめでとう！
 多くの方々から声をかけていただきました

「ひとつの区切りとして、暑気払いを兼ねて記念の会を開こう！」との呼びかけがされ、下記のように決まりました。今月は、日本共産党の創立記念(89周年)の月です。日本共産党のこと、「まんだちニュー

の夜間の利用ができない)については、区も意見が上がっているのを見ながら様子を見る、との対応でした。詳細はHPをご覧ください

スのこと、原発から「なでしこジャパン」…「みんなで語る会」と称して集いたいと思います。お気軽においでください。

**「原発撤退提言」…
 かなり説得力があります**

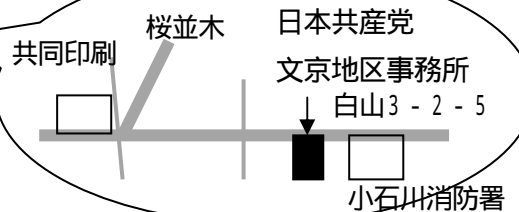
6月に発表した共産党の『原発からのすみやかな撤退、本格的自然エネルギーの導入を』の「提言」は、先駆的で説得力があります。

原発技術の本質的な危険性～原発技術は未完成～原発からのすみやかな撤退～そして5年から10年という期限を決めて撤退のプログラムを策定する このくだりがわかりやすく、たいへん衝撃的です。

ビラ仕立てになった「提言」を駅撒きすると、文字だらけですが結構受け取ってくれます。宣伝、「原発ゼロ」の署名など、区民のみなさんにもっとアピールが必要だと感じています。



◆7月26日(火)
 午後6時から8時
 ◆日本共産党文京地区事務所3階
 ◆会費：1,000円(軽食、飲み物)



まんだち日誌

- 14日 共産党文京区後援会の集まりに。各地域からユニークなニュースが発行されていますが、その交流では、手作りや会員のネットワークがはかれる工夫がポイントでした。
- 16日 午前「赤旗」日曜版配達。午後から宣伝など…考えていましたが猛暑のためとりやめ。夕方は党支部の会議。扇風機の前に氷を置いて冷風が届くようにして会議をしました。
- 17日 時間をつくって妻と映画に。中国の「サンザシの樹の下で」。評判通りいい映画です。以前この監督作品を観て何度も涙しました。おまけに青年時代に通った新宿のジャズ喫茶に寄りました。お客がいっぱい、繁盛していました。